

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について

三浦市教育委員会

## 1 調査の概要と目的

令和4年4月に実施した「令和4年度全国学力・学習状況調査」の三浦市立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。

この調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行われるものです。

なお、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることも踏まえて、調査結果を報告するものです。

## 2 実施状況

(1) 調査の実施日 令和4年4月19日(火)

(2) 調査の対象

小学校第6学年

中学校第3学年

(3) 実施項目

① 教科に関する調査(小学校:国語,算数,理科 中学校:国語,数学,理科)

② 児童・生徒質問紙調査

(学習意欲や学習方法,生活,PCやタブレットなどのICT機器等に関する質問)

(4) 実施校数

小学校 8校

中学校 3校

(5) 実施人数

小学校 253名

中学校 250名

(6) その他

調査結果については、序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の結果については、市としては公表しません。

### 3 三浦市 小学校の結果

#### (1) 三浦市立小学校の教科別平均正答率

	国語	算数	理科
三浦市（公立）	56%	56%	56%
神奈川県（公立）	65%	64%	63%
全国（公立）	65.6%	63.2%	63.3%

※ 国立教育政策研究所の報告書には、平均正答率の±5%の範囲内は同程度であると表記されています。

#### (2) 各教科の概要（問題番号）

【国語】 〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解する。(1一)
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉える。(1三)
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。(1四)
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。(3二)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。(3三(1)イウ)

【算数】 〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。(1(1))
- 二つの数の最小公倍数を求めることができる。(1(2))
- 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。(4(2))
- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。(1(4))
- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。(2(3))
- 伴って変わる二つの量の数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる。(2(4))
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。(4(1))

【理科】 〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。(1(1))
- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。(1(4))
- 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。(3(3))

- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。(4 (1))
- メスシリンダーという器具を理解している。(2 (1))
- 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。(2 (4))
- 日光は直進することを理解している。(3 (1))
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。(3 (4))
- 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。(4 (3))

### (3) 児童質問紙調査の結果概要

〈良好な項目〉(90%以上の児童が肯定的な回答をした項目など) ※「どちらかといえば」「ときどき」を含む

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

### 〈課題がある項目〉

- 普段、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか
- 普段、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)
- 読書は好きですか

### (4) 調査結果から分かること

教科別平均正答率については、全国(公立)と比べ、国語については低い傾向がありました。言葉の特徴や使い方に関する事項については、おおむね習得している傾向が見られました。一方、自分の考えを記述するな

どの書く力、漢字を文章の中で使うなどの漢字力に、課題が見られました。

算数についても、全国（公立）と比べ、やや低い傾向が見られました。算数的な知識や計算についてはおおむね理解している傾向が見られました。一方で、考えを記述するなどの思考力・判断力・表現力に課題が見られました。

理科についても、全国（公立）と比べ、やや低い傾向が見られました。学習指導要領の区分・領域における「生命」を柱とする領域についてはおおむね習得している傾向が見られました。一方で、「エネルギー」を柱とする領域や、「粒子」を柱とする領域については課題が見られました。

質問紙では、生活習慣の定着や自分を肯定的にとらえる回答が高い傾向が見られました。また、友達と協力することの大切さについてや、人の役に立つ人間になりたいなどの人間関係について肯定的な回答が多く見られました。一方で、動画視聴やゲームをする時間と読書をする時間については、課題が見られました。

#### 4 三浦市 中学校の結果

##### (1) 三浦市立中学校の教科別平均正答率

	国語	数学	理科
三浦市（公立）	61%	44%	45%
神奈川県（公立）	69%	53%	50%
全国（公立）	69%	51.4%	49.3%

※ 国立教育政策研究所の報告書には、平均正答率の±5%の範囲内は同程度であると表記されています。

##### (2) 各教科の概要（問題番号）

【国語】〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う。(2一)
- 文脈に即して漢字を正しく書く。(2二①②)
- 事象や行為、心情を表す語句について理解する。(3二)
- 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する。(4二)
- 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する。(4三)
- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。(1三)
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。(2三)
- 表現の技法について理解する。(3一)
- 行書の特徴を理解する。(4一)

【数学】〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。(5)

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。(6 (1))
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。(9 (1))
- 自然数を素数の積で表すことができる。(1)
- 反例の意味を理解している。(3)
- 一次関数の変化の割合の意味を理解している。(4)
- 目的に応じて式を変形したり, その意味を読み取ったりして, 事柄が成り立つ理由を説明することができる。(6 (2))
- 結論が成り立つための前提を考え, 新たな事柄を見だし, 説明することができる。(6 (3))
- 事象を数学的に解釈し, 問題解決の方法を数学的に説明することができる。(8 (2))
- 筋道を立てて考え, 事柄が成り立つ理由を説明することができる。(9 (2))

【理科】 〈おおむね, 理解している内容〉: ○ 〈課題がある内容〉: ●

- モデルを使った実験において, 変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。(1 (2))
- 観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において, 観測地の標高を空間的に捉え, 気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで, 気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる。(2 (1))
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を, 生活場所や移動の仕方と関連付けて, 体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる。(4 (1))
- 複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において, あしの骨格について共通性と多様性を見方を働かせながら比較し, 共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる。(4 (2))
- 飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において, 地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて, 多面的, 総合的に検討して改善できるかどうかをみる。(2 (3))
- 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け, 水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。(3 (3))
- 力の働きに関する知識及び技能を活用して, 物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し, その力を説明できるかどうかをみる。(5 (1))
- 課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。(5 (2))
- 考察の妥当性を高めるために, 測定値の増やし方について, 測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる。(5 (3))
- 地層の広がり方について, 時間的・空間的な見方を働かせながら, ルートマップと露頭のスケッチを関連付け, 地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。(6 (3))
- 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで, 状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。(7 (1))

- 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる。(8 (3))

### (3) 生徒質問紙調査の結果概要

〈良好な項目〉(90%以上の生徒が肯定的な回答をした項目) ※「どちらかといえば」「ときどき」を含む

- 朝食を毎日食べていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- 国語の勉強は大切だと思いますか

〈課題がある項目〉

- 普段、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか
- 普段、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)

### (4) 調査結果から分かること

教科別平均正答率については、全国(公立)と比べ、国語についてはやや低い傾向がありました。言葉の特徴や使い方に関する事項などの知識及び技能についてはおおむね理解している傾向が見られました。一方、自分の考えが伝わるように、表現を工夫して話したり、根拠を明確にして書いたりする、思考力・判断力・表現力などに課題が見られました。

数学についても、全国(公立)と比べ、やや低い傾向が見られました。知識・技能においては一定程度理解・習得している傾向が見られました。一方で、問題解決の方法を説明するなどの思考力・判断力・表現力には課題が見られました。記述問題については、無回答率が高い傾向にありました。

理科については、全国(公立)と比較してほぼ同程度です。ただし、「エネルギー」を柱とする領域については、課題が見られました。

質問紙では、友達と協力することの大切さについてや、人の役に立つ人間になりたいなどの人間関係について肯定的な回答が多く見られました。一方で、動画視聴やゲームをする時間と読書をする時間については、課題が見られました。

生活習慣の定着や自分を肯定的にとらえる回答が高い傾向が見られました。学習面でも課題に対して、自分で解決しようと前向きに努力する回答が高いことが分かりました。一方で、ゲームをする時間と読書をする時間、また、家で自分で計画を立てて勉強をすることについては、課題が見られました。

## 5 三浦市 教科調査および質問紙調査の傾向について

児童・生徒質問紙調査の結果と教科（国語，算数・数学，理科）の正答率との関係について，教科の正答率が高い傾向が見られた質問等を抜粋し掲載します（相関関係があったものであり，必ずしもそれが因果関係を示すものではありません）。

**次のような回答をした児童・生徒に，教科の正答率が高い傾向が見られる。**

- ・朝食を毎日食べること
- ・1日当たりのテレビゲームをする時間，スマートフォンを使う時間が少ないこと
- ・1日あたり，家庭で学習をしたり，読書をしたりする時間が長いこと
- ・これまでの授業で，課題解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいること
- ・これまでの授業で，各教科で学んだことを生かし，自分の考えをまとめる活動を行っていること
- ・学習した内容について，分かった点や，よくわからなかった点を見直し，次の学習につなげていること
- ・算数や数学では，もっと簡単に解く方法がないか考えたり，公式やきまりを習うときにそのわけを理解するようにしたりしていること
- ・理科では，自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てたり，結果をもとに考察したりしていること

以上のように，基本的な生活習慣や学習習慣の確立，学びに向かう粘り強さ，自力解決等が児童・生徒の学ぶ意欲，学ぶ力の向上につながることが分かります。

一方，三浦市の小・中学生共通の課題も存在します。読書を全くしないと答えた児童・生徒は，約40％にのびりました。また，1日4時間以上ゲームをする児童・生徒は，小学校で約29％，中学校で約35％にのびります。また，1日4時間以上携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をする児童・生徒は，小学校で約17％，中学校で約32％にのびりました。

## 6 三浦市の今後の取組について

三浦市教育委員会では，三浦市の児童・生徒が確かな学力を身につけていくため，本調査の分析と考察を行いました。調査結果から学習に関する基礎基本の定着や基本的な生活習慣や学習習慣の確立に関して成果が見られるものの，考えを説明するなどの思考力・判断力・表現力の育成に関しての課題が明らかとなりました。

今後も，分析結果や各校での取組状況を共有する場を設け，情報提供と共有化を行い，授業力向上に向けて研修の充実や校内研究の共有化を図ってまいります。さらに，各学校では調査該当学年（小6・中3）だけではなく，全学年において授業や学習状況の見直しを図り授業改善につなげていく取り組みを行ってまいります。

学力を含めた子どもたちの生きる力を向上させるためには，家庭・地域・学校・教育委員会の連携が重要であると考えています。三浦市の子どもたちが，よりよい生活習慣と学習習慣を身につけるために，引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。